

史跡散策「杉久保に残る江戸・明治時代の長屋門を訪ねる」

園教育総務課 ☎(235)4925

古民家と近代建築などの「近代化遺産」を巡るシリーズの最終回です。長屋門と屋敷林を残す古民家や神社の神楽殿など、約5kmのコースを徒歩で巡ります。

☎3月2日(土) 8時40分〜12時(小雨決行) 定先着40人内「コース」海老名中央公園→杉久保入口バス停→古民家(長屋門)→かぶき場の坂→富谷公園(横穴墓群)→お塔坂→豊



海老名ガイド協会の解説付き



江戸期の豊受大神絵馬(市指定重要文化財)



杉久保の長屋門

受大神→古民家(長屋門)→清水坂→清水坂バス停留所(交通費などは自己負担) 海老名市教育委員会・NPO法人海老名ガイド協会 2月1日(金)から、直接または電話で教育総務課へ。22日(金)締め切り 小学生は保護者同伴

ご利用ください 情報公開制度

図文書法制課 ☎(235)4542 ☎(233)9118

情報公開制度は、市が持っている情報を市民の皆さんの請求に基づいて公開する制度です。個人情報などを除き、原則公開します。市の情報をより詳しく知りたいときにご利用ください。

▼公開することができる文書

市が保有する文書のうち、職員が職務上作成、取得したもので、組織で使うものが対象です。図面、写真、電子データを含みます。

▼公開請求できる人

- 次のいずれかの方が請求できます。
 - 市内在住・在勤・在学の方
 - 市内に事業所・事務所などがある方
 - 市政に関わりのある方
 - 公開を必要とする理由を明示する方

▼請求書の提出から公開まで

① 請求書の提出

「行政文書公開請求書」を、直接または郵送・ファクスで文書法制課へ。郵送・ファクスの場合は事前に相談を。請求書は、市ホームページからダウンロードできます。

② 公開・非公開の決定

請求書の受付後、14日以内に公開・非公開を決定し、郵送で通知します。

③ 公開

通知に記載の日時・場所で情報を公開します。閲覧のほか、資料の撮影も可能です。閲覧や視聴は無料ですが、写しの受け取りや郵送は有料です。



家族教室「うつ病の方の社会復帰」

〈全3回〉

園障がい福祉課 ☎(235)4812

うつ病の方の社会復帰「リワーク」について一緒に考え、語り合います。日時・内容は下表のとおりです。1回のみ参加も可能です。

対うつ病の方の家族 定先着30人 費無料 申2月1日(金)から、直接または電話で障がい福祉課へ



	日時	内容	講師	場所
第1回	2月27日(水) 13時~15時30分	「うつ病の理解と社会復帰について」・グループワーク	桑原 寛氏 (愛光病院精神科医師)	市役所 703会議室
		「うつ病のリワークについて」	石川孝行氏(相談支援事業所び〜な'S所長)	
第2回	3月6日(水) 15時~16時10分	リワークデイケアを知る 事業所見学	リワークデイケア職員 市職員	愛光病院・ けやきの森病院 (どちらかを選択)
第3回	3月13日(水) 13時~15時30分	当事者の体験談・グループワークなど	石川孝行氏(相談支援事業所び〜な'S所長)	市役所 703会議室
		精神保健福祉制度について	市職員	

「駅」「史跡」「公園」「暮らし」などから、海老名の「あの時」「あの場所」を写真でつづります。



第7回 橋

相模橋とあゆみ橋

あゆみ橋が開通したのは平成8(1996)年2月。相模大橋と並んで厚木市とを結んでいる。名称は両市民の一般公募から決定。さかのぼって大正2(1913)年、ここに架かる木造の相模橋が一部鋼鉄製となった時は、皆一同に喜んだ。「電光飾壮観/不夜城/裝飾延期」など、開通当時の新聞の表現からその熱気がうかがえる。改修を繰り返し、じょう橋という愛称とともに約50年間、人々の生活に寄り添った。写真は、藤沢や戸塚、横浜方面行ききのボンネットバスが往來していた頃。当時、遠方への移動手段はバスが主流だった。



昭和14(1939)年頃/相模橋



「あゆみ橋東」交差点付近から、相模橋とほぼ同じ場所に架かるあゆみ橋を撮影

現在/あゆみ橋

